

2019年11月13日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

スポーツは、もっと自由だ——ボウリング界の立役者が語るスポーツと日本の未来 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第86回 赤木 恭平 氏

(日本オリンピック委員会 (JOC) 名誉委員、日本ワールドゲームズ協会会長※)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団 (所在地: 東京都港区赤坂 理事長: 渡邊一利 以下: SSF) では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のお話をもとにスポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を設置しております。

2020年東京オリンピックを来年に控えた本年度は、スポーツの変革に挑戦してきた人びとをテーマにインタビューを行っています。このたび、日本オリンピック委員会 (JOC) 名誉委員で、日本ワールドゲームズ協会会長の赤木恭平氏にご登場いただきます。

赤木氏は、娯楽とされていたボウリングがスポーツとして認められるよう、ひいては、スポーツにいつそうの多様性がもたらされるようご尽力されています。心身の鍛錬を目指す青少年だけでなく、さまざまな人がスポーツを楽しめる社会を目指し、日々奔走する赤木氏。インタビュアーには、産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出させていただきました。

※ ワールドゲームズは、オリンピックに採用されていない種目の国際競技大会。4年に一度開催され、次回 (第11回大会) は2021年7月にバーミングハム (アメリカ合衆国) で行われる。

『『スポーツ=学校教育』からの脱却に寄与したボウリング界』 赤木 恭平 氏

【公開日時】2019年11月13日 (水) 10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/283/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】新スポーツの道を開拓したボウリングの存在/IF (国際スポーツ連盟) 人事に不可欠な国からのバックアップ



《プロフィール》

赤木 恭平 (あかぎ きょうへい) 氏

1931年生まれ、岡山県出身。スポーツとしてのボウリングの普及に尽力し、世界ボウリング連盟の終身名誉会長となる。現在は、日本オリンピック委員会 (JOC) 名誉委員であり、日本ワールドゲームズ協会会長。学生時代は自動車部に所属。

佐野 慎輔 (さの しんすけ) 氏

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、SSF 理事/特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証> 概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
 公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス